



「スカイシー・ゴールデン・エラ（天海新世紀）」が 北九州港に初寄港しました

平成29年3月5日（日）、ひびきコンテナターミナルに中国のクルーズ船「スカイシー・ゴールデン・エラ」が初めて寄港しました。春らしい穏やかな天候の中、紺色のラインが印象的なクルーズ船はゆっくりとひびき港へ入ってきました。約1,800人の中国人観光客は、上陸後45台のバスに乗り込み小倉城や篠崎八幡宮、門司港レトロなど北九州市内の観光へ出かけて行きました。

乗船客が観光に出かけている間に、船内では初入港を記念した歓迎式典が行われました。北九州市からは、記念盾と花束を贈り、船からは記念盾と茶器セットの記念品の返礼がありました。

また17時の出港に合わせて地元の若松中学校吹奏楽部によるお見送り演奏を行いました。乗船客はテラスや最上階のデッキから演奏に聴き入り、演奏終了後には日本語で「ありがとう〜」「さようなら〜」と声をかけてくれ、中学生たちもそれに応えて手を振りあい、気持ちの良い交流風景が見られました。



「スカイシー・ゴールデン・エラ」

総トン数 72,458トン 全長 248.52m



小旗を振って、入港を歓迎しました



和やかな雰囲気で行われた歓迎式典



若松中学校の心のこもった演奏に身を乗り出して楽しんでくれました